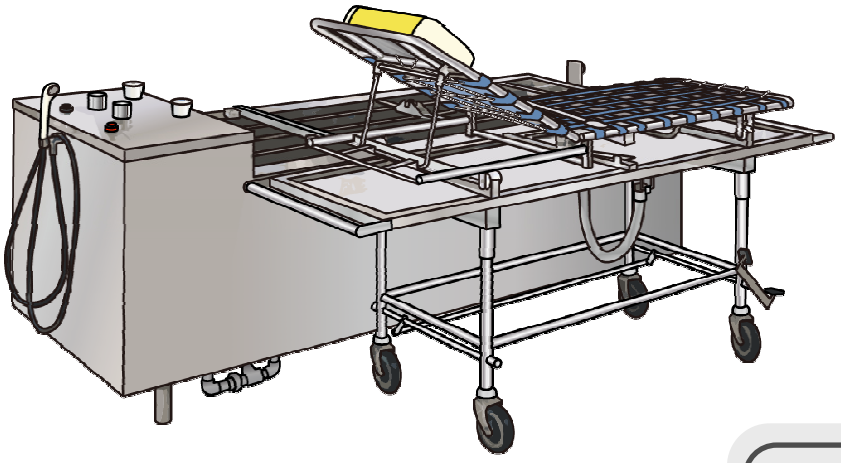
SAKAImed

取扱説明書

入浴装置

クランクバス

BX−210/210V



✱このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

✱正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

✱「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい所に大切に保管してください。

保存用

01-145②JZ

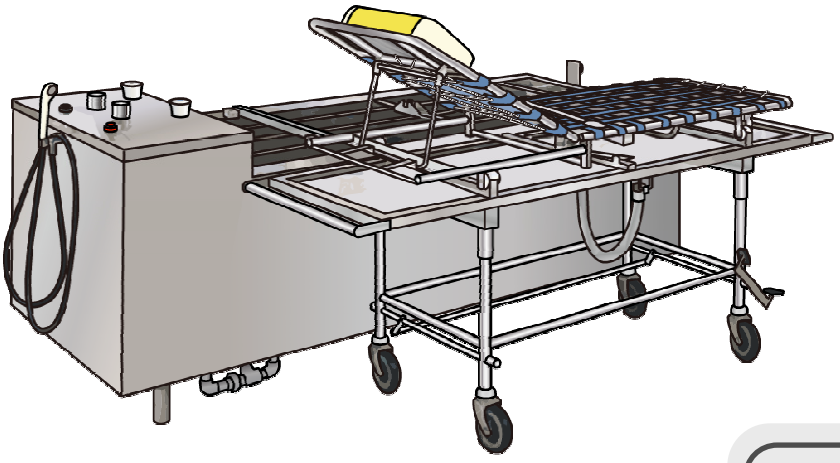
SAKAImed

取扱説明書

入浴装置

クランクバス

BX−210/210V



✱このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

✱正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

✱「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい所に大切に保管してください。

現場用

01-145②JZ

もくじ

安全上のご注意 ····· 3

各部の名称 ····· 7

組み合わせ ····· 10

ご使用になる前に ····· 11
- 電源 ····· 11
- 入浴剤の使用注意 ····· 11
- 給湯水圧 ····· 11
- 薬液及び銀イオン殺菌について ····· 12

浴槽の操作方法 ····· 13
- 給湯 ····· 13
- 排水 ····· 13
- 昇降枠の上昇・下降 ····· 13
- シャワー ····· 14
- バブラー ····· 14

担架の操作方法 ····· 15
- 担架上の作業手順と注意点 ····· 15

ストレッチャーの操作方法 ····· 16

復帰スイッチの操作 ····· 17

入浴の手順 ····· 18

お手入れの仕方 ····· 20

このようなときには ····· 20

機器の保守・点検について ····· 21

保証とアフターサービス ····· 22

仕 様 ····· 23

用途

本製品は、介助を必要とする入浴者を担架に寝かせた状態で、快適かつ容易に入浴できることを目的とした入浴装置です。

特長

- **ステンレス浴槽。**
  サビに強い浴槽です。
- **クランク昇降方式。**
  安定した速度バランスが得られます。
- **気泡発生盤を内蔵。**
  （BXB-210V のみ）

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

電源・給湯水圧・その他

⚠警告

サービスマン以外は、電源の接続を行わない
正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

サービスマン以外は、給湯水の接続を行わない
正しく接続しないと水もれ等の故障や事故の原因になります。

適正圧力及び圧力比範囲となるよう管理
適正範囲を外れると、給湯やシャワーの湯温が急変することがあり、入浴者及び介助者がやけどをする恐れがあります。(P.11 参照)

⚠注意

使用電圧は AC100Ｖ±5%の範囲内で使用する
範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因となります。

15 分以上、連続運転はしない
送風機は長時間、連続運転しますと故障の原因となります。

回転方向に注意
クランク位置を上昇・下降スイッチを間違えて逆に押すと、クランクが内側に回転しますので、その際はすぐに停止し、正しく押しなおしてください。

この製品は、一部に天然ゴムを使用しています
かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し、適切な措置を施してください。

入浴剤・薬液

⚠ 危険

次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない

人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。万が一塩素ガスを吸込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

・当社指定外の薬液を使用しない
・銀イオン殺菌装置と入浴剤・薬液を併用して使用しない

イオウ系の薬液等は浴槽の金属部や電気部品、ゴム部品等を腐食させます。ご使用になり装置が故障した場合は、保証期間内の製品でも、保証対象となりませんのでご注意ください。

入浴中に薬液の投入は行わない

入浴者に健康被害を及ぼす恐れがあります。

推奨濃度より濃い濃度で殺菌しない

機器の破損につながる恐れがあります。

薬液を取り扱うときは、容器に書かれている使用上の注意をよく読む

- 各注意事項をお守りください。
- 周囲に薬液がこぼれた場合は水でよく洗い流してください。床やフレーム等の変色や錆の原因となります。

薬液を使用したときは、入浴作業終了後、きれいに洗い流す

残っていると、変色や錆の原因となります。

着色性及びイオウ成分の入った入浴剤は、使用しない

ご使用になると、よごれを落としにくくなったり、金属の腐食等を起こす恐れがあります。

給湯及びシャワー

⚠ 警告

給湯や差し湯は、手で必ず湯温を確認

温度が高いとやけどをする恐れがあります。特に浴槽内に入浴者がいる状態で給湯や差し湯をする場合には、足先等にかからないよう十分注意してください。

シャワーを入浴者にかける前だけでなく使用中も絶えず手で温度を確認

- 熱い湯が配管内に溜まっている場合がありますので、確認する前に安全な所に吐水して、最初の湯は捨ててください。
- 温度調節をした後、湯温が設定温度になるまでに数秒かかりますので注意してください。
- 温度調節した後でも、給湯・給水の水圧の急変により、シャワーの温度が急に変わることがありますので常に手で湯温を確認してください。

シャワーをかけたままにして入浴者から離れない

介助者が離れている間に温度が急変し、やけどをする恐れがあります。

高温のお湯を使用した後は、必ず温度調節を元に戻す

そのままにしますと、次に使用するときにやけどをする恐れがありますので、低温にして、しばらく湯を流してください。

⚠ 注意

給湯バルブはゆっくり回す

バルブを閉の方に急に回すと、水圧が高くなり配管から水漏れを起こす原因になります。

使用後はシャワーバルブで湯を止めてから、シャワーホース内の加圧水をすてる

手元ボタンのみでシャワーの ON/OFF 操作を行っていると、シャワーヘッドの寿命が短くなります。またホース内に加圧水を残こしたままにすると故障の原因になります。

⚠ 警告

移乗は、斜面や金属面など、滑りやすい場所では行わない
傾斜のきつい床面や、グレーチングなどに停止させると、傾いたり、滑ったりして転倒する恐れがあります。

担架に乗せたら、必ず安全ベルトを使用する
- ベルトをしないと、入浴者が動いて担架から落下したり、手足がはみだして挟み込んだりします。入浴中には浮力により身体が浮き上がって不安定になり水没する等の危険もあります。
- ベルトの固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトで擦れてけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない
移乗などのためにやむを得ず外した場合、落下する恐れがありますのでとっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

リクライニング後のロックを確認
背もたれ部を起こしたときは、背もたれ部に上方から力を加えてステーがしっかりとロックされていることを確認してください。

担架上で作業をするときは、キャスターは必ずロック
入浴者を担架の上に移乗させるときや担架上で入浴者を洗身するとき、ロックしていないと、ストレッチャーが移動し事故の原因になります。

担架上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意
狭い担架上での移乗・洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら十分注意して作業を行い、洗身時はベルトを使用してください。

担架上で入浴者の姿勢を変えるときは、手足の指に注意
手足の指が担架の隙間等に挟まっていないか確認してください。挟まったままで姿勢を変えたりするとけがをする恐れがあります。特に足先が拘縮や麻痺で変形している人には注意が必要です。

入浴者には絶対に担架ストッパー解除レバーに触れさせない
担架上で洗身や清拭などの作業を行なって入浴者が横向きになったとき、或いは移乗時入浴者が担架の端に腰掛けたときなど、入浴者の手が担架ストッパー解除レバーに近いときは、入浴者の手に注意をしてください。入浴者が担架ストッパー解除レバーに触れると、ロックが解除されて、担架がストレッチャーから落下し、けがをする恐れがあります。

担架を浴槽に移動するとき以外は担架ストッパー解除レバーに触れない
ストレッチャー上で担架が移動して落下したり、不安定な状態となり横転しけがをする恐れがあります。

皮膚の弱い入浴者の場合ベルト等との接触部分にタオル等を使う
皮膚が薄くなり、弱くなっている入浴者の場合には、安全ベルトやフレームの角部等への軽微な擦れで皮膚が破けてけがをする恐れがあります。入浴中や入浴後はさらに皮膚が柔らかくなってけがをしやすくなりますので接触部分にタオル等を巻いてください。

⚠ 注意

ストレッチャーの端部に乗ったり、腰かけたりしない
機械の故障の原因となります。

安全ベルトの損傷に注意
ほころび始めたり、切れかかってきたり、マジックベルトの接合力が弱くなってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。また、ほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。

上昇ペダルは上限になったらそれ以上踏まない
機械の故障の原因となります。

入浴・出浴

⚠ 警告

担架を移動させる前に昇降枠が上限位置にあることを確認
上限位置にないと、担架の落下など思わぬ事故の原因となります。

下降スイッチを押す前に、必ず手で湯温を確認
温度が高いとやけどをする恐れがあります。

入浴中の入浴者の状態に注意
水没等がないように、常に看視してください。入浴者に異変があったら、すぐに入浴作業をやめて、適切な処置をしてください。

ストレッチャー上や浴槽上へ担架を移動した後は必ずロックを確認
担架を押し引きしてロックを確認してください。ロックが不十分だと落下の恐れがあります。

ストレッチャーを移動した後は、キャスターを必ずロック
ロックをしていないと、ストレッチャーが移動し事故の原因になります。

注意

下降スイッチを押す前に必ず担架のロックを確認
担架がストッパーにロックされたことを、必ず担架を動かして確認してください。

下降スイッチを押す前に、浴槽内を確認
浴槽の中などに手桶やタオル等の不要物が無いことを確認してください。

担架の移動は、ゆっくり
入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。特に、繰り返し強い力で担架を押して手を離したりすると、担架ロックピンが破損して担架落下の原因になったり、入浴者に衝撃を与え不安になりますので、必ず最後まで手を添えて担架移動を行ってください。

担架を昇降するときは入浴者の状態に注意
手足の挟み込みや落下等がないように、常に看視してください。また危険を感じたらすぐに停止スイッチを押せるように準備してください。

介助者の手の挟み込みに注意
担架をストレッチャーまたは浴槽へ移動する際には、担架の裏側に手を入れないでください。手が挟まれけがをする恐れがあります。

ご使用後

⚠ 注意

操作スイッチにシャワー等で水をかけない
水がかかると電気系統の故障の原因になります。

使用後は、必ず排水をする
- 長時間（24 時間以上）水を張っておきますと、水垢などが浴槽にこびりつき汚れが落ちにくくなります。
- 気泡盤排水バルブも開いて排水してください。

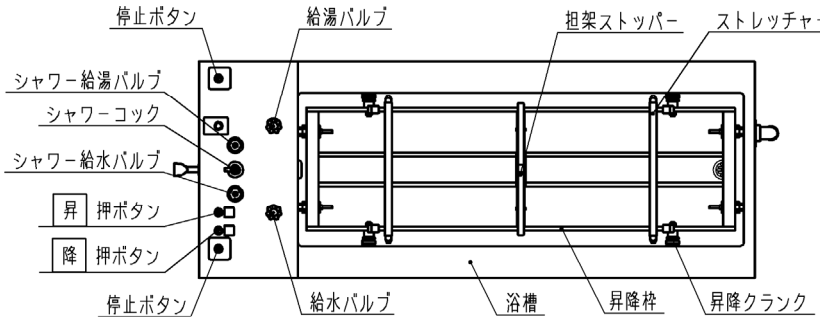
使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる
湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

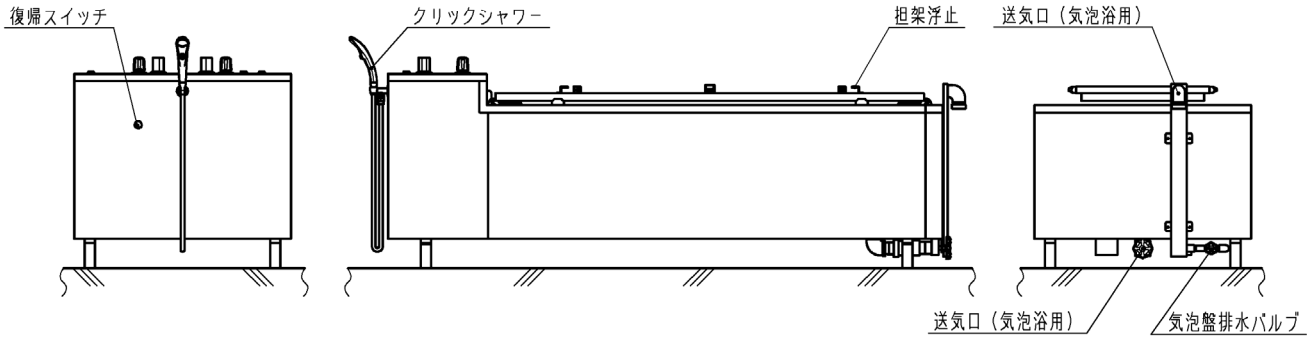
使用後は、必ず電源を切る
事故を防止します。

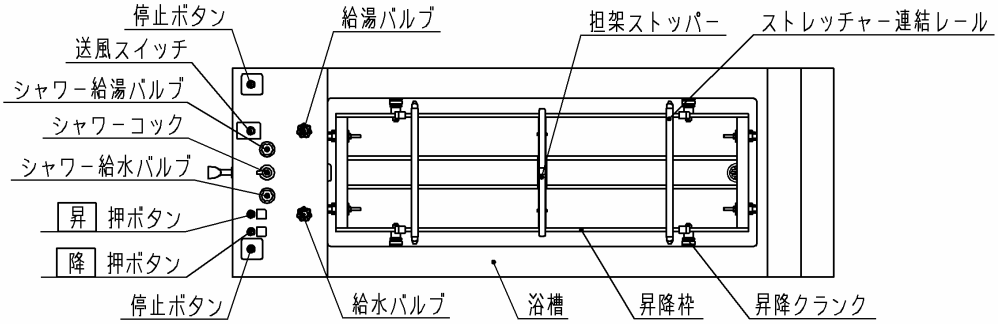
納入時のビニールカバーは、破棄する
製品にかけて使用すると、錆などが発生しやすくなるので、絶対に使用しないでください。

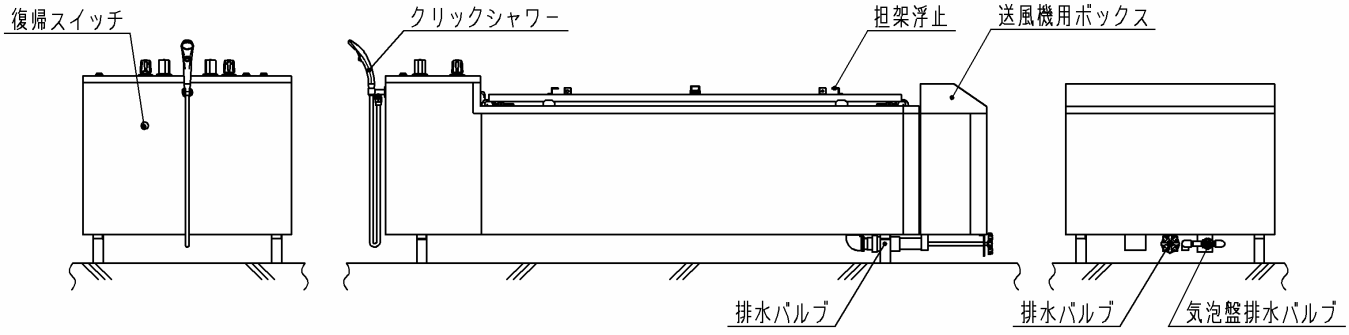
各部の名称

浴槽 BXB-210

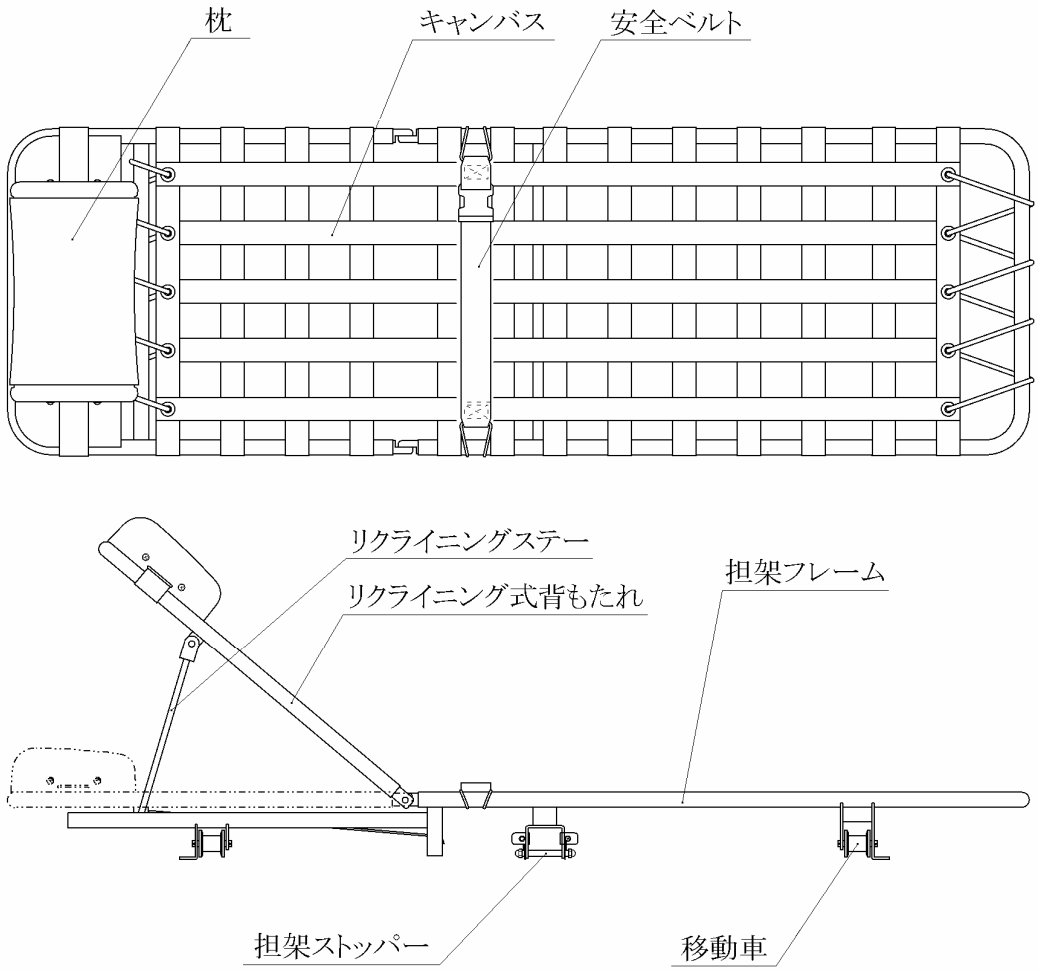




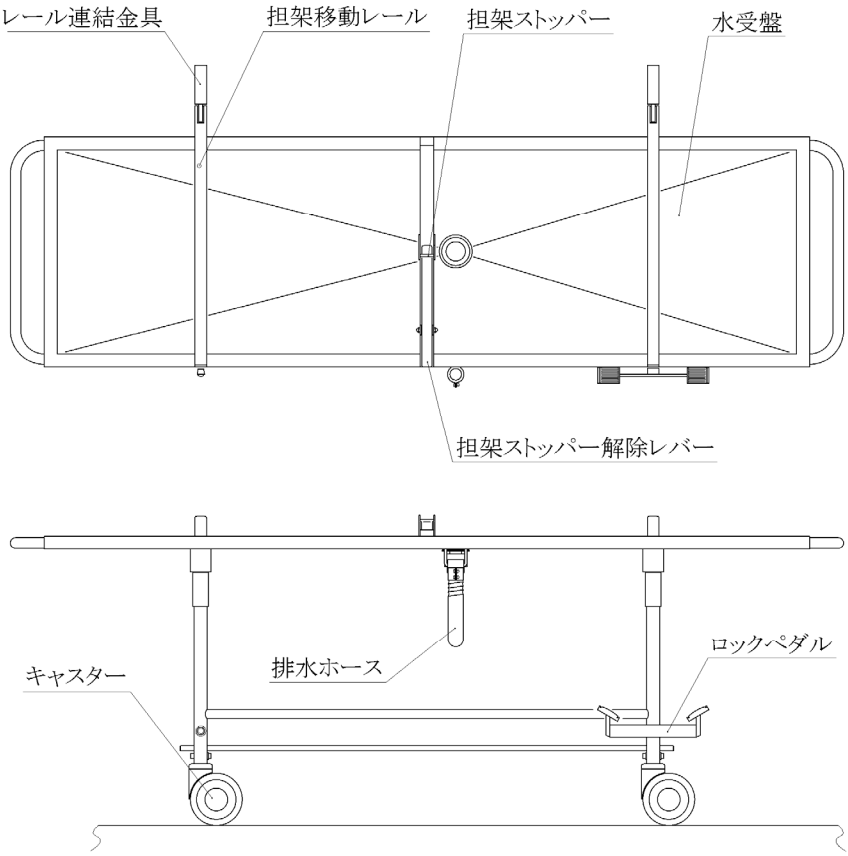




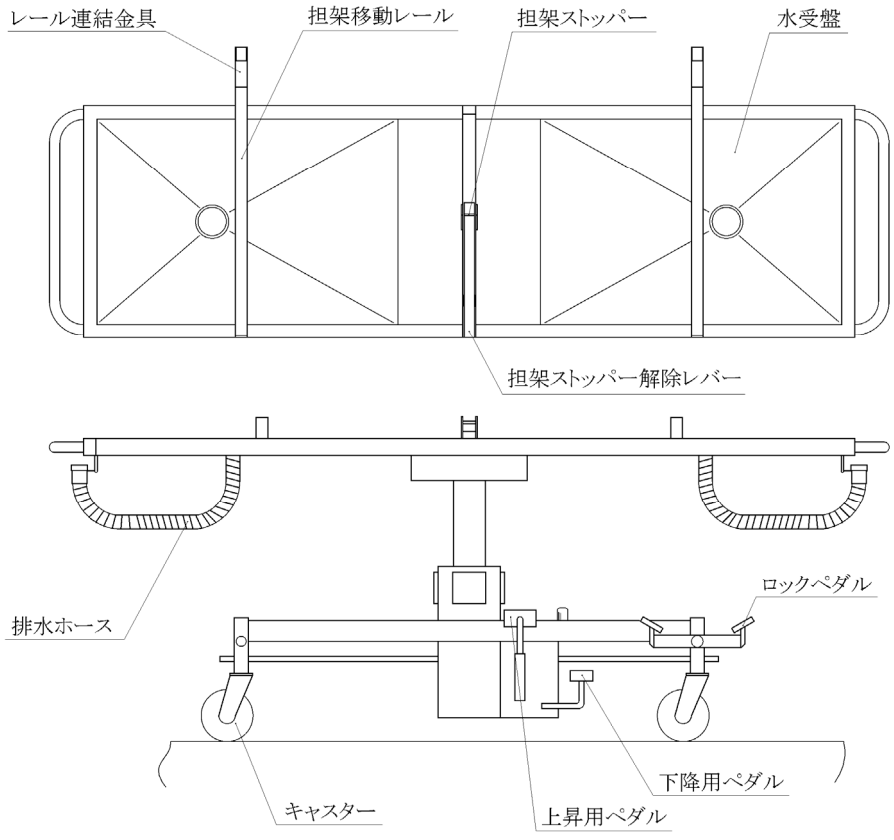
担架 WS-210



ストレッチャー ST-210



油圧昇降式ストレッチャー STH-210



組み合わせ

● セット構成

クランクバスセット BX-210V(気泡発生盤内蔵)

・浴槽(気泡発生盤内蔵)	BXB-210V	… 1台
・担架	WS-210	… 1台
・ストレッチャー	ST-210	… 1台

クランクバスセット BX-210

・浴槽	BXB-210	… 1台
・担架	WS-210	… 1台
・ストレッチャー	ST-210	… 1台

● 浴槽の種類

浴槽(気泡発生盤内蔵)	BXB-210V
浴槽	BXB-210

● 周辺装置(別売り)

担架	WS-210
ストレッチャー	ST-210
油圧昇降式ストレッチャー	STH-210

用途に応じて、組み合わせて使用します。

ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.21 の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

電源

本製品の電源は設置時に接続されています。ご使用前に必ず浴室の本製品操作用電源のブレーカーが切れていないか点検してください。

浴室の浴槽用電源を操作して、入浴装置の電源を入れます。

入浴剤の使用注意

入浴剤は、使用上の注意をよく読んで、金属・ゴム（本体構成部品）等に悪影響を及ぼさない製品を使用してください。ただし、粉末状の入浴剤は、溶け残ったものが浴槽や配管内に付着しますと故障の原因になりますので、使用しないでください。

給湯水圧

本装置に供給される湯及び水の適正使用圧力は 120～150 kPa(約 1.2～1.5 kg f/㎠)です。圧力比は変動を含んでも最大 ２：１ です。適正範囲内でご使用ください。

⚠警告　適正圧力及び圧力比範囲となるよう管理

適正範囲を外れると、給湯やシャワーの湯温が急変することがあり、入浴者及び介助者がやけどをする恐れがあります。

薬液及び銀イオン殺菌について

✸ 薬液殺菌について

薬液で浴槽水を殺菌する場合は、次亜塩素酸ナトリウム（6%溶液）を使用してください。他の薬液を使用したり、他の薬液と混ぜて使用しないでください。また、浴槽の殺菌を行う場合には、＜浴槽の殺菌＞を参考にしてください。

＜浴槽水の殺菌＞

満水の浴槽水の殺菌を行う際は約 4 cc薬液を投入してください。（満水の湯量、約 650ℓに対して、0.3ppm の塩素濃度になります。－当社推奨値－）

薬液を投入したら、浴槽内をよく撹拌してください。

＜浴槽の殺菌＞

1 日の入浴作業終了後、浴槽の殺菌を行う際は、約 11 ccの薬液を投入してください。（満水の湯量 650ℓ に対して、0.7ppm の塩素濃度になります。－当社推奨値－）

薬液を投入したら、浴槽内をよく撹拌してください。15 分程度放置した後に浴槽の湯を排水し、浴槽内をシャワーできれいに洗い流してください。

⚠危険　次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品と一緒に用いない

人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

✸ 銀イオン殺菌装置について

銀イオン殺菌装置を本製品に接続することができます。但し、銀イオン殺菌装置を使用すると、浴槽表面が黒ずむ事がありますのでご了承ください。また、銀イオン殺菌装置を使用した場合は、入浴剤・薬液は併用しないでください。黒ずみを促進させる恐れがあります。

●ご使用中に…

万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

浴槽の操作方法

給湯

排水バルブ、気泡発生盤排水バルブが閉まっていることを確認します。
給水バルブと給湯バルブをあけると、給湯口より浴槽に給湯されます。
給湯温度は、給水バルブと給湯バルブとの開き加減で調節します。

警告　・給湯や差し湯をするときは、必ず手で温度を確認
温度が高いとやけどをする恐れがあります。

・高温のお湯を使用した後は、必ず温度調節を元に戻す
そのままにしますと、次に使用するときにやけどをする恐れがあります。

排水

使用後は、排水バルブ及び気泡発生盤排水バルブを開いて、浴槽内及び気泡発生盤内の水を抜きます。

排水が終わりましたら、次の入浴に備えて排水バルブ及び気泡発生盤排水バルブを閉じます。

昇降枠の上昇・下降

- 上昇

上昇スイッチ（緑）を押すと、昇降枠が上昇し、上限で自動停止します。

- 下降

下降スイッチ（黄）を押すと、昇降枠が下降し、下限で自動停止します。

- 停止

停止ボタン（赤）を押すと、任意の位置で停止させることができます。

注意　・入浴者に異変があったら、すぐに入浴を中止する
・下降スイッチを押す前に、浴槽内を確認

シャワー

1　シャワーコックを出側に向けます。

2　シャワー給水バルブとシャワー給湯バルブの開き加減で温度調節及び流量調節を行います。

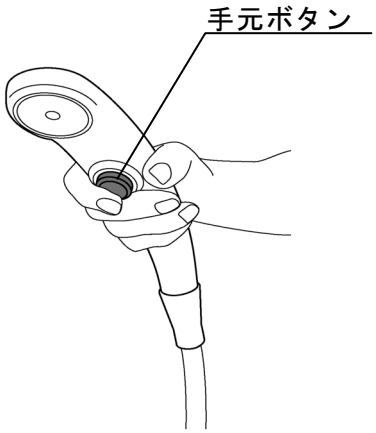
警告　・シャワーを入浴者にかける前だけでなく使用中も絶えず手で温度を確認

熱い湯が配管内に溜まっている場合がありますので、確認する前に安全な所に吐水して、最初の湯は捨ててください。

・高温でお湯を使用した後は、必ず温度調節を元に戻す

・シャワーをかけたままにして入浴者から離れない

3　ハンドシャワーは、手元ボタンを押すごとにシャワーの ON,OFF を切り換えることができます。



注意　使用後はシャワーバルブで湯を止めてから、シャワーホース内の加圧水をすてる

バブラー

（BXB-210V のみ）

バブラースイッチを「ON」側に回すと気泡が出ます。

「OFF」側に回すと気泡が止まります。

注意　15 分以上、連続運転はしない

担架の操作方法

1　安全ベルトを入浴者に合わせて長さを調節して、入浴者に使用します。
2　背もたれ裏側のリクライニングステーを立てて背もたれをリクライニングします。
3　枕は枕ベルトで背もたれに取り付けます。入浴者に合わせて取付け位置を調節します。

⚠警告　・担架に乗せたら、必ず安全ベルトを着用する
ベルトでの固定が適切でないと、入浴者が落下してけがをする恐れがあります。

・安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない
ベルトを外すと、入浴者が落下する恐れがあります。

・リクライニングを確認
背もたれ部を起こしたときは、ステーがしっかりとロックされていることを確認してください。

⚠注意　安全ベルトの損傷に注意

担架上の作業手順と注意点

担架へ入浴者を移乗させるとき

1 担架を乗せたストレッチャーを平らな安全な床面に停止させキャスターのロックを掛けます。
2 移乗はリクライニングを倒した状態で行います。
3 移乗は、入浴者の転倒・落下に注意しながら作業をします。
4 移乗後は、安全のため必ず安全ベルトを着用してからリクライニング操作とストレッチャーの移動をします。

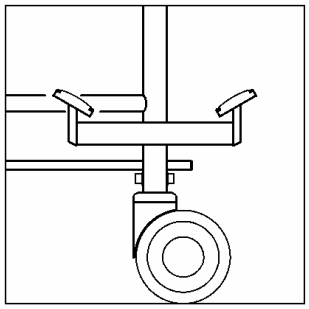
担架上で洗髪・洗身を行うとき

1 必ずキャスターのロックが掛かっていることを確認します。
2 入浴者の状態に十分注意しながらリクライニング角度をゆっくり調整します。
3 狭い担架上での体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら注意深く行います。
4 安全ベルトは、少し余裕をもった長さに調節して、必ず着用します。

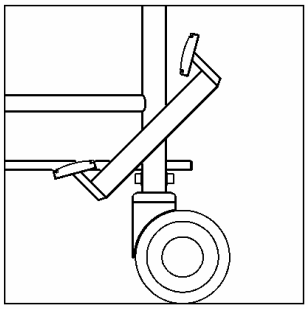
⚠警告　担架上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意
狭い担架上での作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。十分注意して作業を行ってください。

ストレッチャーの操作方法

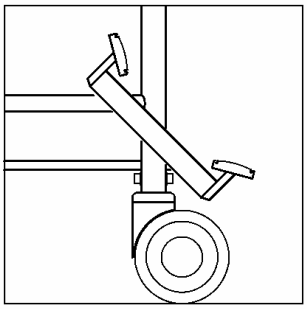
1　ストレッチャーのキャスターはペダルを踏むことでロックします。



ペダルが水平な位置の場合には，４輪の回転が自由に行えます。



ペダルの左側を踏むと一輪だけの方向が固定し，搬送時の方向安定を助けます。
（ＳＴＨ－２１０を除く）



ペダルの右側を踏むと４輪の回転と方向が一度にロックされます。

2　担架ストッパー解除レバーを下に押すと、担架のロックが解除されます。

3　油圧昇降式ストレッチャーは、上昇ペダルを踏むとストレッチャーが上昇します。上昇させる際は必ず担架にストッパーがかかっていることを確認してください。強く大きく踏むと担架は早く上昇しますが、入浴者のショックは大きいので、静かにゆっくり踏んでください。踏んでいて硬くなったら上限ですので足を離してください。

4　下降ペダルを踏むと下降します。下降スピードは少し踏むと遅く、多く踏むと早く下降します。足を離すと任意の高さで停止します。

警告　担架を浴槽に移動するとき以外は、担架ストッパー解除レバーに絶対に触れない
搬送中等に担架のロックが外れ、担架が分離して脱落する恐れがあります。

注意　・ストレッチャーの端部に乗ったり、腰かけたりしない
・上昇ペダルは上限になったらそれ以上踏まない

復帰スイッチの操作

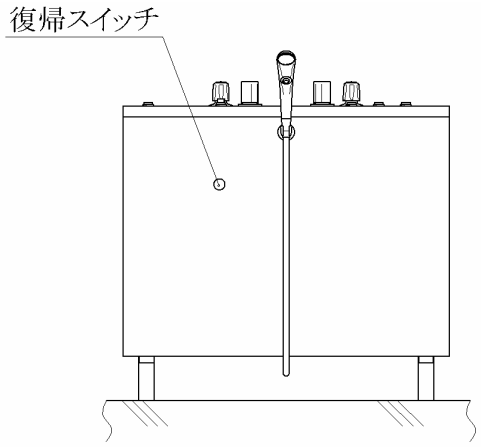
本製品の昇降クランクは規制された範囲内を可動しますが、万が一この範囲を超えてしまった場合は安全装置が作動して昇降クランクが動かなくなります。

正常な可動範囲を超えた位置で昇降クランクが停止し、上昇・下降スイッチを操作しても全く動かなくなった場合は、次の手順で復帰操作をしてください。

また、このような症状が発生した場合は、電気部品の寿命等が考えられますので、最寄りの営業所に連絡してください。

- **昇降クランクが上限位置より超えてしまった場合**

1　操作部にあるキャップを外して中にある復帰スイッチを押しながら下降スイッチを同時に押します。
2　昇降クランクが正常な可動範囲に入ったら、下降スイッチ及び復帰スイッチから手を離し、停止ボタンを押します。
3　上昇・下降スイッチを押して、昇降枠が正常に昇降するか確認します。
4　確認後、復帰スイッチの穴にキャップを元どおりにはめます。



- **昇降クランクが下限位置より超えてしまった場合**

1　操作部にあるキャップを外して中にある復帰スイッチを押しながら上昇スイッチを同時に押します。
2　昇降クランクが正常な可動範囲に入ったら、上昇スイッチ及び復帰スイッチから手を離し、停止ボタンを押します。
3　上昇・下降スイッチを押して、昇降枠が正常に昇降するか確認します。
4　確認後、復帰スイッチの穴にキャップを元どおりにはめます。

⚠注意　クランクの回転方向に注意

入浴の手順

1　担架への移乗

① ストレッチャーのキャスターをロックします。
② 担架がストレッチャーにロックされていることを確認後、担架に入浴者を乗せます。
③ 入浴者を乗せたら、担架の安全ベルトを調節してしっかり固定します。
④ キャスターのロックを解除し、浴室まで移動します。

⚠警告　・移乗は、斜面や金属面など、滑りやすい場所では行わない
・担架上で作業をするときは、キャスターは必ずロック
・安全ベルトを必ず着用する

2　入浴

① 洗身終了後、上昇スイッチを押し、昇降枠を上限まで上昇させます。
② ストレッチャーのレールと浴槽のレールが合うようにストレッチャーを浴槽に横づけします。
③ ストレッチャーのレール連結金具を浴槽のレールに連結した後、キャスターをロックします。
※油圧ストレッチャーの場合は高さを調節してください。
④ 担架ストッパー解除レバーを押してロックを解除し、担架を浴槽へ移動します。
⑤ 担架がストッパー受でロックされたことを、担架を動かして確認します。
⑥ 入浴者の手足が昇降枠より外にはみ出していないか確認し、安全を確認後、下降スイッチを押して担架を入浴者の最適深さになるまで下降させます。

⚠警告　・担架を移動させる前に昇降枠が上限位置にあることを確認
・担架を移動した後押し引きしてロックを必ず確認
・下降スイッチを押す前に、必ず手で湯温を確認
・入浴中の入浴者の状態に常に注意

⚠注意　・担架の移動は、手を添えてゆっくり行う
・担架を昇降するときは入浴者の状態に注意
・介助者は担架操作時に手の挟み込みに注意

3 出浴

① 入浴時間が経過したら上昇スイッチを押して昇降枠を上限まで上げます。
② 担架ストッパー解除レバーを押してロックを解除し、担架をストレッチャーへ移動します。
③ 担架がストレッチャーにロックされたことを担架を動かして確認します。
④ ストレッチャーのキャスターロック及び浴槽との連結を解除し浴槽から離します。
⑤ ストレッチャーのキャスターを再度ロックし、入浴者にシャワーで上がり湯をかけ、清拭します。
⑥ ストレッチャーの水受盤に溜まった水は排水ホースを外して排水します。

⚠警告 ・担架を移動した後押し引きしてロックを必ず確認
・ストレッチャーを移動した後は、キャスターを必ずロック

お手入れの仕方

- 浴槽は市販の浴槽用洗剤を使用します。クレンザーなど研磨材入りの洗剤は表面に傷が付きますので使用しないでください。
- ステンレス部は、水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。洗った後は乾いた布等で水滴をきれいに拭き取ってください。
- 雑菌の繁殖の防止、機器の保全のため、湯の排水と浴槽、ストレッチャー、担架の掃除はできるだけこまめに行ってください。

⚠注意　元電源が切れていることを確認

このようなときには

症　　状	原　　因	対　　策
上昇・下降ボタンを押しても動作しない	元電源が入っていない	元電源を入れてください
	安全装置が働いている	P.17「復帰スイッチの操作」を参照し、復帰してください
	電気系統のトラブル	最寄りの営業所に連絡ください
	駆動部分のトラブル	
給湯水量が一定しない	Ｙストレーナーの目つまり	最寄りの営業所に連絡ください
	給湯・給水圧力が低い	設備側の圧力比を適正値に調節してください
給湯温度が一定しない	Ｙストレーナーの目つまり	最寄りの営業所に連絡ください
	圧力比が使用条件外	設備側の圧力比を適正値に調節してください
給湯温度が低すぎる、または高すぎる	給湯水の圧力比が使用条件外	設備側の圧力比を適正値に調節してください
昇降時に振動、異音がする	グリス切れ	最寄りの営業所に連絡ください
	駆動部分のトラブル	

・ご使用中、万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。
・その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	浴槽内外の障害物の有無	目視
	カバーのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、触って確認
	安全ベルトのほつれ、バックルの破損	目視
	キャスターの緩み、ガタつき、抜け出し	目視 及び、触って確認
	キャスターの車輪の摩耗	目視
	給湯口からの湯の漏れ	目視
機能	昇降枠の昇降	スイッチ操作で昇降枠がスムーズに昇降・停止するか、異音がないか確認
	キャスターのロックの作動	キャスターのロックペダルを踏んでキャスターの回転と首振りのロックを確認
	リクライニング部のロック	背もたれ部をリクライニングさせ、力を加えてロックが外れないか確認

保証とアフターサービス

✹ 保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

✹ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*BX-210*、*210V*

  お買い上げ年月：　　年　　月

  故障状況（できるだけ詳細に）

  住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決して開けたり分解しないでください。

✹ 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

✹ 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

✹ 損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

  シャワーヘッド / 安全ベルト / 作動油
- 正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

  シャワーホース / 給湯・給水用ホース / 排水ホース / 止水栓パッキン / キャスター / 油圧ホース＆チューブ

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

✹ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

浴槽

型　式		BXB-210	BXB-210V
外形寸法		2350(L)×900(W)×880(H)mm	2595(L)×900(W)×880(H)mm
質　量		約 350 kg	約 385 kg
浴槽容量		約 650ℓ	約 650ℓ
材質	浴　槽	ステンレス製	ステンレス製
	フレーム	スチール製	スチール製
電　源		単相 100Ｖ 50/60Hz 15A	単相 100Ｖ 50/60Hz 20A
電　力		150/120W	ー
電源入力		400VA	1200VA
昇降方式		電動クランク式	電動クランク式
機能構成		２バルブ混合栓	２バルブ混合栓、気泡浴装置

担架

型　式		WS-210
外形寸法		1740(L)×555(W)×180(H)mm
質　量		約 13 kg
材質	フレーム	ステンレス製
	キャンバス	ナイロン
機能構成		リクライニング
付属品		枕、安全ベルト

ストレッチャー

型　式	ST-210	STH-210（オプション）
外形寸法	2030(L)×740(W)×760(H)mm	2030(L)×740(W)× 540～800(H)mm
質　量	約 40 kg	約 90 kg
担架面高さ	830 mm	610～870 mm
材　質	ステンレス製	ステンレス製
昇降方式		足踏油圧式

注）都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。